

7 その他全般的事項

<保健医療技術学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

【該当なし】

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況 教育推進機構会議（平成24年4月1日設置） ※規程は別添口
- b 委員会の開催状況 平成26年度年15回開催。教員出席者数（延べ）131名。
- c 委員会の審議事項等
 - ・教育課程の編成に関する事項
 - ・教育開発・改善に関する事項
 - ・宗教教育センターに関する事項
 - ・国際交流センターに関する事項
 - ・教育推進機構の人事（実習指導講師、外国人契約講師、専門員等）に関する事項
 - ・教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項
 - ・教育推進機構の自己点検・評価に関する事項
 - ・教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項
 - ・その他教育推進機構に関する必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- 1) 学生による授業アンケート
- 2) FD研究会の開催
- 3) 研修会等への参加支援
- 4) 研修会参加報告書の提出
- 5) e-learningの推進
- 6) 基礎学力調査
- 7) 英語基礎力調査
- 8) 入学前教育
- 9) 刊行物の発行
- 10) TAの配置

b 実施方法

- 1) 全学規模で各期末に実施。対象は、全教員（専任・非常勤）。
- 2) 学部とのヒアリングから出された意見を参考に、授業デザインや教授法、障がいを持つ学生への対応などをテーマに実施。
- 3) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。
- 4) FD関連研修会に参加した教職員より研修会内容の報告、情報共有。
- 5) 事前事後学習の充実、単位の実質化に向けたe-learning利用の推進。
- 6) 1回生・2回生・3回生の基礎学力調査とアンケートによる学習実態調査の実施。
- 7) 入学時および2回生進級時における英語基礎力調査の実施。
- 8) 入学予定者に対する授業体験や在学生との懇談等の実施。
- 9) 各取組の成果・分析結果を取りまとめ、刊行物として発行。
- 10) 演習科目における教育内容の充実に向け、大学院生をTAとして配置。院生へのプレFD。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) ③学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a-1)に同じ。
- 2) FD研究会を5回開催。
 - 「大人数講義に使える30の授業ティップス— 大人数講義で学生との対話は可能か? —」：参加者103名
 - 「発達障がい学生支援について ～授業に視点を置いて～」：参加者86名
 - 「発達障がい学生支援について ～大学生活に視点を置いて～」：参加者93名
 - 「学生が自ら学ぶ授業を設計してみませんか?～シラバスの工夫で、授業はもっと良くなる～」：参加者25名
 - 「発達障がい学生支援について～成績評価に視点を置いて～」：参加者54名
- 3) 教員参加研修会：10研修会。参加教員数（延べ）：10名。
- 4) 「FD関連研修会に参加した教職員より研修会内容の報告、情報共有」10件
- 5) 春学期：利用教員69名、172講座、受講延べ人数7,990名。
秋学期：利用教員69名、141科目、受講延べ人数7,471名。
利用説明会：春学期4回参加者26名、秋学期2回参加者5名
- 6) 【受験者数】1回生：1,627名（実施率98.2%）、2回生：1,256名（実施率75.4%）、3回生：832名（実施率%）
- 7) 【受験者数】第1回目：1,641名（実施率99.7%）、第2回目：1,321名（実施率80.5%）
- 8) 【授業体験参加者数（延べ）】 計2回：266名（参加率72.1%）
- 9) 『2014年度「基礎学力調査」結果報告』2014年12月600部制作、学内配布。
『2013年度授業アンケート結果報告集（通学課程・通信教育課程）』2015年3月発行500部制作、学内外へ配布。
- 10) 【TA登録者数】22名 【講座数】35講座

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 教育推進機構会議において、授業アンケート集計結果の分析を行い現状把握を行った。
また、分析結果は刊行物にて学内外へ公表。

- 2) FD研究会における取組内容、開催内容は刊行物にて学内外へ公表し、情報共有を図っている。
また、参加できなかった教員には動画を配信している。
- 3) 学外のFD関連研修会の案内および研修会報告を刊行物等で学内外へ公表した。
- 4) 参加した学外のFD関連研修会についての報告書を作成し、学内で報告、共有化を図り本学FDへのフィードバックを行った。
- 5) 利用説明会を開催し、新規利用者の拡大。
- 6) 回生毎に調査の結果分析を行い、学内向けに結果報告会の開催、刊行物による情報共有を図った。
また、1回生に関しては分析結果に基づき入門ゼミの授業改善の材料としている。
- 7) 入学時・2回生進級時の英語基礎力調査と結果の分析を行い、その結果に基づく習熟度別クラス編成による英語授業を行った。
- 8) 早期に合格が決定する入学者に対し、学部学科毎に授業体験を実施。また、
スポーツ強化・課外活動入試、法人系列校の入学者向けに学生生活の目的を明確化させる
ワークショップの開催。
- 9) 刊行物による全学的な情報共有ならびに意識の醸成。
- 10) TA配置をおこなった講義については、「ティーチング・アシスタント実績報告書」の提出を義務付け、
その成果と改善点について検証をおこなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- 1) 春学期 実施教員数(実施率)：専任187名(89.47%)、非常勤328名(76.48%)
実施講座数(実施率)：1,053科目(74.26%) 実施時期：平成26年7月9日(水)～7月22日(火)
- 秋学期 実施教員数(実施率)：専任189名(86.70%)、非常勤301名(80.70%)
実施講座数(実施率)：989講座(74.75%) 実施時期：平成27年1月13日(火)～平成27年1月24日(土)

b 教員や学生への公開状況、方法等

全体の集計結果の分析を行い、結果報告会を開催し現状把握を行なった。各学部学科へ学科毎の分析結果を返却し、現状把握およびカリキュラム再編の検討材料として提供した。
総合的な分析結果は刊行物にて学内外へ公表、教員の個人別の結果については学内のみ公表した。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- I. 平成26年3月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2012』(大学基準協会認証評価受審用)
- II. 平成27年2月1日公表 『佛教大学自己点検・評価活動報告書2013』
- II. 平成27年3月1日公表 『佛教大学教育研究活動年報(2013年度版)』

b 公表方法

- I. ホームページ上に公開し、大学図書館に配架(大学基準協会からの評価結果を含む)。
- II. 大学図書館に配架。
- III. 大学図書館に配架。

③ 認証評価を受ける計画

- ・公益財団法人大学基準協会において認証評価を受審するため、学内自己点検・評価結果を取りまとめた「自己点検・評価報告書」を平成24年4月に提出し、平成24年9月の実地調査を経て、平成25年3月に同協会の大学基準に適合していることが認定された。
- ・認定期間は、平成25年4月1日～平成32年3月31日。
- ・なお、努力課題6点および改善勧告1点が付されたため、その改善報告書の作成および提出を平成28年7月末までに行う予定である。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ☐ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 27 年 6 月 30 日)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 24 年 4 月に保健医療技術学部新たに看護学科(入学定員 65 名)を開設し、その設置の趣旨・目的を達成すべく学生募集を開始し、本年度で完成年度を迎えるに至った。

学生確保については、平成 27 年度入試においては、入学定員 65 名に対し志願者 1,419 名と、昨年度比約 107.5%と志願者増の結果となった。また、下表のとおり、志願者の 90% 以上にあたる 1,312 名が近畿圏からの志願者となっているが、こちらも昨年度比 112%と志願者増となった。

近年の看護系大学増加、特に近畿圏内、京都府内における看護系大学が新設される中で、昨年度より志願者が増加した点は、地域医療に貢献する質の高い看護師の養成を目的とした本学に対する看護師養成の要望と期待の高さが伺える。これは、京滋における志願者が 904 名と全志願者の半数以上を占めていることからもうかがえる。

年々看護系大学または看護系学部学科が増加する傾向にあるが、地域に密着し、総合大学で学ぶ看護教育の理念を強く打ち出し、完成年度以降についても、学生確保に関する施策を展開し、より積極的な入試広報を展開する予定である。

近畿圏の志願者内訳

学科	都道府県	平成 24 年度入試 志願者数	平成 25 年度入試 志願者数	平成 26 年度入試 志願者数	平成 27 年度入試 志願者数
看護学科	福 井	24 名	10 名	4 名	15 名
	三 重	7 名	30 名	13 名	11 名
	滋 賀	212 名	310 名	337 名	360 名
	京 都	501 名	757 名	461 名	544 名
	大 坂	288 名	303 名	248 名	253 名
	兵 庫	75 名	74 名	43 名	67 名
	奈 良	129 名	58 名	41 名	34 名
	和歌山	23 名	40 名	25 名	28 名
	合 計	1,259 名	1,582 名	1,172 名	1,312 名

以上、現時点においての所見であり、他については設置届出時の計画のとおりである。